

なたしょうこ 名田庄っ子のやくそく

なたしょうしょうがっこう
名田庄小学校

「名田庄っ子のやくそく」は、名田庄小学校のみんなが楽しく充実した生活を送るために、学校や社会の一員としてのルールを守り、マナーを身につけることを目的に考えたものです。

1 登校

- 学年の初めに徒歩通学希望調査をする。同じ地区で3人以上の希望者があり、学校が安全と判断した時は、歩いて通学をすることができる。（1つまたは2つ先のバス停まで徒歩通学することもできる。）
- 中条地区と小倉地区の人は、3人以上いれば、徒歩通学、それ以外の人はバス通学とする。
- 12月1日から3月末までは（冬の間）、徒歩通学希望者も基本的にはバス通学とする。
- バスは、特別な事情がない限り、必ず奥からつめて乗るようにする。バス乗車マナーを守る。
- 歩いて来る班の人は、班ごとに7時50分～8時までの間に着くように登校する。
- 歩いて来る班の人は、班の旗を持った班長を先頭に、決められた通学路を安全に歩く。



2 下校

- 下校は、小倉地区の人以外はバス下校とする。（ただし、小倉地区の低学年で一人になる場合は、バス下校をしてもよい。）
- バス乗車マナーを守る。

3 おくれてくるときや休むとき

- おくれてくるときや休むときは、必ず登校班の班長と学校へおうちの人に連絡してもらう。
- 「うつる病気」とお医者さんに言われたときには、おうちの人に4時半までに学校に連絡してもらう。

4 生活

- 近所の人やバスの運転手さん、お客さんや先生・友だちなどに、しっかりあいさつをする。
- 時計を見て行動し、集まるときには5分前集合を守る。また、教室やろうかでは、走ったりあばれたりしない。
- 心のルール「自分がされていやなことは人にしない」を守る。
- そうじのときには、そうじをしやすい服装で、時間いっぱい、だまって、いっしょうけんめいにそうじをする。

5 服そう

- 学校に来るとき・帰るときは制服を着用し、上は紺のイートン・ダブル型、下は紺の半ズボンまたは長ズボン、もしくは紺のひも付きスカートとする。
- 上衣の下は、白のカッターシャツ、ポロシャツ、ブラウスとする。
- 5月～10月は上衣を脱ぎ、白のカッターシャツ、ポロシャツ、ブラウスも可とする。
- 夏は体操服登下校も可とする。

- 体を清潔に保つためにも、登下校をする時は、カッターシャツ、ポロシャツ、ブラウスの下に、体操服の半袖を着ない。
- 上衣には、くるりん名札を安全ピンでとめ、行き帰りにはうら返す。
- 登下校は、黄色の安全ぼうしをかぶる。
- 登校後は、活動のために体操服に着替える。
- 学校の中では、一年を通してできるだけうす着です。真冬は、ジャンパー等のアウターを着てもよい。
- マフラー、ネックウォーマー、レッグウォーマー、手ぶくろは、学校の中では着用しない。
- 制服の上衣の下に着る防寒着は、ベストやセーターとする。
- 体育などの時は、半袖・半ズボンを基本とする。真冬は、体操服の長袖・長ズボンを着てもよい。(安全のためシャツのすそはズボンの中に入れる。)
- 体操服の左むねには、学校できめられた名札をつける。短パンには名前を書く。
- 半袖シャツについては、ワンポイントの白のTシャツでもよい。
- 登下校のはきものや上ばきは、安全に運動できるくつとし、必ず名前を書く。
- 髪の毛が、学習の妨げにならないようにする。(髪ゴム、ピンなどを使用する。)

6 ももの持ち物

- 学校には、不必要なお金や物を持って来ない。
- ランドセルには、自分のものだとわかるように、キーホルダーなどを1つだけつけることができる。
- ふではこの中には、学年で決められた必要なものだけを入れる。
- 学校に持ってくる物には、すべて名前を書く。体操服はナップザックに入れる。



7 家に帰ってからや休みの日

- 外で遊ぶときには安全なところで遊び、一人では遊ばない。
- 子どもだけで校区外へ行かない。
- 出かけるときには、家の人に場所と帰る時刻を伝える。
- みんなが使う場所(児童館や図書館・公園など)では、ルールやマナーをしっかりと守る。あとかたづけもきちんとする。
- インターネットや動画を見るとき、パソコンやタブレット、スマホを使うときは、ルールやマナーを守る。

なだしょうしょうがっこう
(名田庄小学校スマートルール)

- 自転車に乗るときは、交通ルールをしっかりと守り、ヘルメットをきちんとかぶる。
- 不必要なお金を持って遊びに行ったり、おごり合いをしたりしない。